

◆青鳳会御詠歌講演会のご案内

〔日時〕令和元年11月28日(木) 午前10時
〔場所〕めぐろパーシモンホール

青鳳会は、御詠歌に真剣に取り組み、組まれている臨済宗の若手和尚様による組織です。龍雲寺の閑栖和尚が宗務総長時代に結成し、命名をさせていただきました。

それから、プロの音楽の先生に指導いただき、日々の練習を積み重ね今日に至っております。仏教、禅の教えが込められた御詠歌を、若手和尚様の素晴らしい声量で唱えあげられます。



御詠歌をやらせている方にも、御詠歌が好きな方にも、初めて聞かれる方にも心安らかに素敵な時間をお過ごしいただけますよう。

行事予定

- 9月9日(月) 第11次四国巡礼
- 9月21日(土) ダンマトーク 円覚寺 横田南嶺老大師
- 9月23日(月・祝) 秋季彼岸会
- 10月19日(土) 第16回天満敦子ヴァイオリンコンサート
- 10月22日(火・祝) 御詠歌全国大会
- 10月26日(土) 龍雲寺落語講演会(予定)
- 11月16日(土) ダンマトーク 花園大学 柳 幹康氏
- 11月28日(木) 青鳳会コンサート 於めぐろパーシモンホール
- 12月中旬 子ども会 お餅つき大会
- 12月31日(火) 除夜の鐘
- 令和2年1月7日(火) 大般若会

◆第16回

天満敦子ヴァイオリンコンサート

日時 10月19日(土) 午後5時開演
 会場 龍雲寺本堂(椅子席)
 定員 3時から整理券配布
 お申し込みはFAX/電話・HPで。
 定員になり次第締め切ります。お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意しております。

編集後記

○残暑が厳しいですが、いかがお過ごしですか? ○五山の送り火の旅は台風の中傘もささず、本山のお精霊送りの法要、薬師寺の特別拝観、写経、写仏、川床は変更し送り火も拝めました。京博寄託の特別展鑑賞、友禅染め体験等をしました ○友禅染め体験を最初は見学と言われた方が素敵な布バッグを染めていました。方丈さんは、風神雷神の図柄を染めた布バッグを使っています ○秋は第11次四国巡拝、御詠歌の全国大会、御詠歌の本山試験、目黒パーシモンでは青鳳会の前座を務めさせて頂きます ○方丈さんは白内障の手術を終え皆様のお顔がはつきり見えると思います ○お彼岸会の前日に、大釜で薪で大納言を沢山煮て餡を煮て美味しいおはぎを作り皆様をお待ちしています。お元気で。要子

臨済宗妙心寺派 龍雲寺 花園会報

二〇一九年 秋彼岸号

監修／細川 晋輔

編集／細川 要子

〒一五四〇〇〇三 東京都世田谷区野沢三三三八一

TEL〇三三三四二一〇二三八 FAX〇三三三四一八一九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

筆舌に尽くしがたい猛暑の中、それでも朝晩に秋の到来を感じる事ができる昨今、檀信徒の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

私はこの時節、境内を賑わっていた蟬の声を聞くと、次の俳句を思い出します。

やがて死ぬ けしきは見え 蟬の声

松尾芭蕉が亡くなる四年前の一六九〇年に作られた俳句です。「頓て」は「間もなく」、「けしき」は気色と書いて、「様子、兆し」を意味しています。つまり、蟬の命は短いですが、今盛んに鳴いている声を聞くと、そういう兆しはいささかも感じられないと芭蕉は詠んだのです。

芭蕉は茨城県の鹿島のや、東京深川ので、仏頂禅師についでこの俳句もいわば禅の言葉とすることができるといえます。では何を言いつつとされたのでしょうか?

芭蕉はそのことを「辞世の句」にまつわる話で表現して

いるのです。芭蕉の死期が迫っていることを心配した門弟たちが、師匠に辞世の句を残して欲しいと懇願している場面。俳聖といわれる芭蕉であれば、どんな素晴らしい句を残されるのであろうか。俳句の歴史において未来永劫色あせない、人生の真理をあらわした句を期待したに違いありません。

しかし、門弟たちの期待はあっさり裏切られます。芭蕉の答えは「昨日の発句は、きょうの辞世、今日の発句こそ、明日の辞世である。生涯言い捨てし句、ことごとく辞世でないものはない」というものでした。今まで作ってきた数え切れないほどの俳句。これらは、その時、そこで命が尽きてもいいという覚悟で生み出したものである。だからこそ、それらすべてが辞世の句であるといえるのです。このような芭蕉であったからこそ、死ぬ直前まで鳴き続ける蟬の見事な生き方に、共感するとともに驚嘆したのでしよう。そして、そのことを当たり前のようになりふれられている蟬の声が、私たちに教えてくれているのです。

秋季彼岸会法要

令和元年9月23日(月)

於・龍雲寺本堂

正午 御詠歌奉詠
 午後12時45分 法話(本派布教師)
 午後1時30分 法要

※おはぎとお漬物を用意しています。どうぞお参り下さい。申込不要。

龍雲寺の夏風景

盆踊り準備

前日の準備。
たくさんの方にお手伝いいただきました。



盆踊り大会

第52回もお陰様で盛大裡に無事終了いたしました。
有り難うございました。



盆踊り練習

3日間で200名を超えるお子さんたちに参加いただきました。本堂に入りきれない程でした。



野沢稲荷

野沢稲荷様の大神輿。



正眼セミナー

NHK「こころの時代」にも出演されている正眼寺の山川玄老師による講演会。年に二回開催されています。



お知らせ

◆ダレマートーク

9月はありがたいことに毎年恒例となりました鎌倉円覚寺管長・横田南嶺老
大師にもお話しいただきます。



◆野沢龍雲寺落語講演会

大人気番組「笑点」司会でおなじみ、
春風亭昇太郎師匠にお越しいただく予定
です。

詳しくは、秋の彼岸会でチラシをお配
りいたします。

10月26日(土)午後5時より(予定)

募集中

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

9月3日(火)・10月15日(火)
11月19日(火)・12月25日(水)
自主練習(不定期)

◆早朝洗心坐禅会(初回のみ要予約)

毎週日曜日
朝6時30分～8時30分(6時開門)
会費 無料

※初回参加の方のみ予約が必要となります。
詳しくはホームページをご覧ください。

◆写経会(初回のみ要予約)

毎月第2土曜日 1時～4時
(但し、7月、8月はお休み)
納経料は一卷500円(龍雲寺に納経)

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を
造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き
合いをさせていただきます。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

花園誌に連載中で、全国各地で定例講
座をされている安岡定子先生をお招きし
ての論語の素読教室です。

【日時】毎月第一日曜日

※3・8月はお休み
午後3時から

【参加費】大人800円、子ども500円
(家族料金800円)

申し込み、お問い合わせはお寺まで

◆龍雲寺ダレマートーク(法話会)

【場所】龍雲寺本堂

【参加費】無料
11月16日(土)午後3時30分～5時まで
(開場午後3時)

【講師】花園大学国際禅学研究所教授
柳 幹康氏

【プロフィール】

真岡市ご出身、お若いながら禅学の第一
線の研究者の先生です。お話がとてもわ
かりやすく、そして大変勉強になります。
禅に興味がある方、仏教をもっと知りた
い方にお会いにお勧めです。よろしくお
願いいたします。

※要予約

申込みは、東京禅センターまで

TEL03(5779)3800

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・獅子舞子ども会、
かっぱれ・ヨガ等があります。